

**医療法人回生会 宝塚病院 創立50周年を機に“心臓検診”開始！**

**心臓病による“突然死”は、検診で予防する時代へ**

**世界最新「心臓CTスキャン」体験取材のご案内**

～目の前に拍動する自分の心臓が浮かび上がり、1mm以下の幅で断層撮影～

**9月7日（木）14時より / 宝塚病院「検査センター」**

**〈 実際の検査現場をご取材いただいた後、希望日に体験取材を受け付けます 〉**

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、医療法人回生会 宝塚病院（院長：馬殿 芳郎 / 所在地：宝塚市野上）は今年、創立50周年を迎えたことを機に、世界最新の「心臓CTスキャン」を導入いたしました。これにより“心臓検診”が可能になるため、当院では8月より「心臓病早期発見チェックシート」で心臓病の無料問診を開始しております。

つきましては報道関係の皆様、この世界最新検査をぜひご取材いただきたく体験取材の機会を設定しました。ここに謹んでご案内申し上げます。

目の前に、拍動する自分の心臓が浮かび上がる そんなSF映画のような検査が突然死の悲劇を防ぎます。

特に、最近増えている“働き盛りの突然死”のうち心臓病による心臓突然死は年間約5万人（日本心臓財団データ）に及ぶと言われております。普段は症状がない人（サイレント）が突然発症するケースが多く、これまでは危険因子（喫煙、糖尿病、高血圧症、高脂血症、肥満など）を持つ方へ注意を呼びかける以外に予防することが困難でした。

しかし今回、当院が導入した「心臓CT（名称＝64マルチスライスCT）」は拍動する心臓を“面”ではなく立体的に映し出し、1mm以下の幅で心臓を輪切りにするコンピュータ断層撮影ができます。これにより従来は困難だった心臓の血管撮影が可能になるため、心臓の血管が狭くなっているなどの異常が判明し、命に関わる重大な病気を事前に防ぐことができます。

また、従来心臓検査に比べて入院の必要もなく、身体への負担が大幅に軽減されるため、**健康診断の感覚で心臓の健康管理をすることも可能**になります。そこで当院では先日、無料問診票の配布を開始いたしました。これにより、多くの人々の命を事前に救うことができると願っています。

以下に体験取材の事前に行なう検査共同取材会の概要をご案内します。この共同取材会では実際に患者が「心臓CT」を受ける様子だけでなく、感想等も取材していただけます。皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、ぜひ、この機会にご取材いただきたく、お願い申し上げます。

謹 白

## 世界最新「心臓CT」共同取材会 概要

日時 9月7日(木) 14時～15時  
13時30分より宝塚病院総合受付にて、報道受付を開始します。

場所 医療法人回生会 宝塚病院 検査センター

内容 1. 世界最新心臓CTを導入した経緯について  
2. 無料問診票の配布と“突然死予防”への取り組み概要  
3. 検査現場ご取材(実際の検査現場をご取材いただきます)  
4. 質疑応答  
ご希望により、個別に体験取材を受け付けます。

説明者 医療法人回生会 宝塚病院 副院長 馬殿正人  
(関西医科大学臨床教授/循環器専門医/日本心血管カテーテル治療学会指導医)  
以下は、馬殿副院長のメッセージです。

### 突然死の悲劇を、少しでも減らすために

救急車内で救急隊が行なう心肺蘇生(電気ショックや人工呼吸器使用による治療)の向上、一般移民への心肺停止患者に対する蘇生法の普及、AED(電気ショックの機械)の町への設置・・・このように、急性心筋梗塞で倒れた場合の対処が盛んに行われるようになってきました。しかし、急性心筋梗塞を発症する前に、病気を早期発見することが最も有効な突然死の予防になります。これが今回のCT導入の大きな目的です。

急性心筋梗塞の死亡率をゼロにすることは困難です。左主幹部病変や3枝病変の完全閉塞によるショック状態で救命できないこともあります。また、急性心筋梗塞で病院到着までに死亡する症例は多く、心臓による突然死とされているのは年間約5万人(日本心臓財団調べ)とされています。

多くの突然死の原因である急性心筋梗塞の事前の段階で診断ができれば、適切な治療を行うことで突然死を防ぐことができ、これが一番の理想と考えます。ただ、狭心症には症状のない人(サイレント)も多く、危険因子の多い人(喫煙、糖尿病、高血圧症、高脂血症、肥満症)に注意を呼びかける以外に予防の手立てがありませんでした。

しかし、今回導入した「心臓CT」により、事前治療が可能になるのです。

そこで当院は先日、無料問診票の配布を開始いたしました。

問診によって心臓病の危険を持つ人を診察し、世界最新の心臓CTで身体に負担なく確実な検査をして、病変がある場合は早急な治療を行なう・・・この仕組みが、突然死の悲劇を減らしていくものと確信しております。

今年、当院は創立50周年を迎えました。今回の取り組みは、創立50周年を機に、地元の皆様に“突然死予防”の具体的対策をもって還元したい・・・この想いから実施するものです。

突然死の悲劇が少しでも減ることを、心から願ってやみません。

## 世界最新「心臓ＣＴ」概要

名 称

### 64 マルチスライスＣＴ

(世界最新・世界最速ＣＴスキャン / 2006年8月現在)

機種名

### SOMATOM Sensation Cardiac 64 (シーメンス社製)

世界初の64マルチスライスＣＴ

2003年(平成15年)11月、北米放射線学会(RSNA:於シカゴ)で披露され、

“心臓の詳細画像を実現した、世界初のＣＴ”と世界中の注目を浴びました。

日本に初上陸したのは翌2004年(平成16年)の夏です。

特 長

#### **拍動する心臓が立体的に映し出され、細かい血管も浮き彫りに!**

従来のＣＴスキャンは、コンピュータ断層撮影で臓器の内部を「面」として映し出すものでした。この世界最新ＣＴは、動く臓器を立体的に映し出すため、これまで映し出すことが困難だった、心臓の冠動脈をはじめ細かい血管までが、浮き彫りになります。その上、1mm以下の間隔でコンピュータ断層撮影ができるため、動く心臓の全体像を診ながら、断層撮影で心臓内部の様子を詳細まで診ることができます。

#### **「心臓カテーテル検査」以外不可能だった検査を可能にし、身体への負担を大幅に軽減**

従来、心臓の血管を詳細に検査するには、心臓の血管にカテーテルの管を入れる「心臓カテーテル検査」が必要でした。これには入院が必要な上、身体への負担が大きく気軽に受けられる検査ではありませんでした。

しかし、この世界最新ＣＴは、入院は必要なく検査時間も約1時間です。さらに実際にX線を身体に当てるのは15秒程度で、従来のＣＴに比べてX線による身体への負担も大幅に軽減されます。

#### **「心臓カテーテル検査」に比べて、検査費用が5分の1以下に。**

「心臓カテーテル検査」は通常20万円前後の検査費用プラス入院費用が必要です。

一方、この世界最新ＣＴは約3～4万円程度で入院は必要ありません。

さらに健康保険が適用できるため、自己負担額は検査費用の3割以下になり、健康診断の感覚で検査することが可能になります。

### 医療法人回生会 宝塚病院における、世界最新「心臓ＣＴ」導入について

当院が、世界最新「心臓ＣＴ(64マルチスライスＣＴ)」を院内に設置したのは本年(2006年)2月です。

以後、現在まで半年間、200例以上の臨床実績を積み、「心臓病予防検査」として広く一般の人々へ、呼びかけることにいたしました。

当院は、世界最新心臓ＣＴを豊かな臨床経験で使いこなし、地元の皆様へ、確かな自信をもって「世界最高レベルの心臓検査」を提供いたします。

### 《参考》宝塚病院・心臓病治療実績

年月	実績
1956年3月	医療法人回生会 宝塚病院 設立
1985年2月	急性心筋梗塞の患者へ「心臓カテーテル治療」開始 血栓溶解療法同時スタート
1994年	急性心筋梗塞の患者へ「PTCA」開始 PTCA = 切開をせず、心臓の冠動脈血管内で、狭くなったり、詰まったりした血管を拡張する処置を行なう治療法
1996年6月	身体に負担をかけない検査を導入 以前の心筋梗塞死亡率28%に対し、当院7~9%を実現。
1997年7月	より身体に負担をかけない心臓検査法導入
1999年	心筋梗塞の患者の心肺蘇生に成功 以後、心筋梗塞から心肺蘇生に成功した実績多数
2004年2月	チェストペインセンター立ち上げ。 医療関係、救急隊直通電話を設置し、スピーディかつ安全シンプルな治療を推進。
2006年2月	世界最新の心臓CTが可能な「64マルチスライスCT」導入

「心臓CT」導入後、半年間にわたり十分な臨床実績を積み、今回の企画を実施しております。

### 《お願い》

大変お手数ですが検査準備等のため、体験取材会ご参加の有無を**9月4日(月)までに**、別紙「FAX返信用紙」にて、以下FAX番号まで、お知らせくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

**返信FAX番号 06 - 6231 - 4440**  
**(株式会社TMオフィス内 宝塚病院 広報事務局)**

本件に関するお問合せは、以下までお願いします

#### 医療法人回生会 宝塚病院

医局秘書 三浦 TEL: 0797 - 71 - 9630  
広報事務局(株式会社TMオフィス内)

殿村・馬場 TEL: 06 - 6231 - 4426

医療法人 回生会 宝塚病院ホームページ

<http://www.takarazuka-hospital.com/>